



平成30年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 夢テクノロジー
コード番号 2458 URL <http://www.yume-tec.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本山 佐一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 金子 壮太郎

TEL 03-6420-3828

四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	7,507		383		387		51	
29年9月期第3四半期								

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 60百万円 (%) 29年9月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	3.95	3.91
29年9月期第3四半期		

平成30年9月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年9月期第3四半期の数値及びこれに係る対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	4,441	2,410	54.2
29年9月期			

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 2,408百万円 29年9月期 百万円

平成30年9月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年9月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		20.00		10.00	
30年9月期		10.00			
30年9月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年4月25日を効力発生日として当社普通株式1株を2株に分割しておりますので、平成29年9月期第2四半期末の配当額は、株式分割前の配当額を記載しております。

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000		380		380		180		13.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成30年9月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社夢エデュケーション、除外 社 (社名)

詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年9月期3Q	12,941,200 株	29年9月期	12,925,200 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年9月期3Q	株	29年9月期	株
----------	---	--------	---

期中平均株式数(四半期累計)

30年9月期3Q	12,928,364 株	29年9月期3Q	12,638,900 株
----------	--------------	----------	--------------

当社は、平成29年4月25日を効力発生日として当社普通株式1株を2株に分割しておりますので、「期中平均株式数(四半期累計)」につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費や雇用情勢の改善を背景に、緩やかな回復が持続しております。海外経済においても、イタリア・スペインでの政治不安やイギリスのEU離脱協定の交渉難航、アメリカの通商関税政策などの政治及び政策に関する不確実性による影響に留意する必要があるものの、設備投資などが回復傾向にあり、世界経済の拡大基調は継続しております。

また、当社が属する国内の製造業界及びIT業界へのエンジニア派遣市場においても、依然として人手不足は深刻であり、サービス業や金融業といったその他の業界においてもエンジニアに対する注目が集まり、引き続き活況な需要となりました。

このような事業環境の中、旺盛な需要に対応するべく、若手の業界未経験人材や女性エンジニア、そして外国人エンジニアをターゲットとした独自の採用路線を継続し、人材確保に注力いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間にて732名の採用となり、平成30年6月末現在の在籍エンジニア数は2,158名となっております。エンジニアに対する需要の増加に伴い、今後も人材獲得競争が激化することが見込まれるため、引き続き積極的な採用活動により人材確保に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間において、売上高7,507百万円、営業利益383百万円、経常利益387百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益51百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間において、報告セグメントを単一セグメントに変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(注) 当社は、第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は4,441百万円となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は3,649百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金が1,896百万円、受取手形及び売掛金が1,403百万円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は781百万円となりました。

主な内訳は、投資有価証券が349百万円、のれんが136百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は2,031百万円となりました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,353百万円となりました。

主な内訳は、賞与引当金137百万円及び未払費用497百万円、未払法人税等106百万円、1年以内返済予定の長期借入金105百万円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は678百万円となりました。

主な内訳は、長期借入金375百万円及び退職給付に係る負債302百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,410百万円となりました。

主な内訳は、資本金が1,270百万円、資本剰余金が747百万円、利益剰余金が396百万円であります。

(注) 当社は、第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想については、採用活動への追加投資を中心とした販売費及び一般管理費が増加する見通し及び、保有有価証券の減損処理による投資有価証券評価損が発生することから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（平成30年8月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,896,511
受取手形及び売掛金	1,403,574
その他	349,943
貸倒引当金	△135
流動資産合計	3,649,894
固定資産	
有形固定資産	88,376
無形固定資産	
のれん	136,428
その他	22,272
無形固定資産合計	158,701
投資その他の資産	
投資有価証券	349,344
その他	185,167
投資その他の資産合計	534,511
固定資産合計	781,589
繰延資産	
株式交付費	4,429
新株予約権発行費	6,047
繰延資産合計	10,477
資産合計	4,441,961
負債の部	
流動負債	
短期借入金	20,000
1年内返済予定の長期借入金	105,000
未払法人税等	106,827
未払費用	497,126
賞与引当金	137,369
その他	486,728
流動負債合計	1,353,052
固定負債	
長期借入金	375,000
退職給付に係る負債	302,768
資産除去債務	324
その他	62
固定負債合計	678,155
負債合計	2,031,208
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,270,891
資本剰余金	747,847
利益剰余金	396,942
株主資本合計	2,415,680
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△4,491
退職給付に係る調整累計額	△3,118
その他の包括利益累計額合計	△7,609
新株予約権	2,682
純資産合計	2,410,753
負債純資産合計	4,441,961

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年10月1日 至平成30年6月30日）
売上高	7,507,380
売上原価	5,652,888
売上総利益	1,854,491
販売費及び一般管理費	1,471,397
営業利益	383,093
営業外収益	
受取利息	70
投資有価証券売却益	1,246
投資事業組合運用益	28,825
その他	4,435
営業外収益合計	34,578
営業外費用	
支払利息	1,108
持分法による投資損失	11,573
繰延資産償却費	9,429
その他	7,787
営業外費用合計	29,898
経常利益	387,773
特別利益	
新株予約権戻入益	648
関係会社株式売却益	1,692
特別利益合計	2,341
特別損失	
投資有価証券評価損	200,917
その他	1,904
特別損失合計	202,822
税金等調整前四半期純利益	187,292
法人税、住民税及び事業税	123,005
法人税等調整額	13,196
法人税等合計	136,201
四半期純利益	51,090
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,090

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日）
四半期純利益	51,090
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	8,269
退職給付に係る調整額	1,193
その他の包括利益合計	9,463
四半期包括利益	60,553
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	60,553

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

当第3四半期連結会計期間において、株式会社夢エデュケーションの株式取得により子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、平成30年6月30日をみなし取得日としたため、当第3四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「エンジニアアウトソーシング事業」「N&Sソリューション事業」の2区分から「エンジニアアウトソーシング事業」の単一セグメントに変更しております。

エンジニアアウトソーシング事業では、主に製造業各社へのエンジニア派遣を中心としており、N&Sソリューション事業では、主にIT業界に属する企業へのエンジニア派遣を中心としておりました。しかしながら、積極採用の導入により、エンジニアアウトソーシング事業においても、ITエンジニアへの適性が高い人材が多く見受けられるようになり、また、派遣先である製造業各社においても、ITエンジニアに対する需要増加が顕著となっております。

今後の事業展開、経営管理体制の実態等を踏まえ、より効率的な管理及び営業体制と適切な人材配置を実施するべく、報告セグメントについて再考した結果、当社グループの事業を一体として捉えることが合理的であり、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したものであります。